

Ryukoku University

# Yunus Social Business Research Center



龍谷大学ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター洲本ブランチ  
開所式

2021年3月26日



# Yunus Social Business Research Center

Sumoto Branch

龍谷大学 ユナスソーシャルビジネスリサーチセンター 洲本ブランチ

日時：令和3年3月26日(金)13：30～14：00

場所：洲本商工会議所会館1階 大ホールA、ビジネス交流センター

プログラム：

1. 開 式
2. 挨拶

入澤 崇 (龍谷大学学長)

竹内 通弘 様 (洲本市長)

木下 紘一 様 (洲本商工会議所会頭)

白石 克孝 (PS洲本株式会社代表取締役、  
龍谷大学ユナスソーシャルビジネスリサーチセンター長)

3. テープカット
4. 内 覧

主催：龍谷大学

(お問合せ先：龍谷大学Ryukoku Extension Center<担当：野澤> TEL075-645-2098、rec-k@ad.ryukoku.ac.jp)

# 「洲本ランチ」開設のポイント

- ①2021年3月26日、龍谷大学は「龍谷大学ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター洲本ランチ」（以下「洲本ランチ」）を開設。
- ②龍谷大学は、洲本市や洲本商工会議所とともに、洲本ランチを拠点に「域学連携のさらなる推進」と「ソーシャルビジネスやローカルベンチャーの起業支援」などに取り組む。
- ③オンライン起業セミナー等のイベントを随時開催する。
- ④その他、コワーキングスペースを地域住民と共同で2021年4月5日にオープンする（後述）。

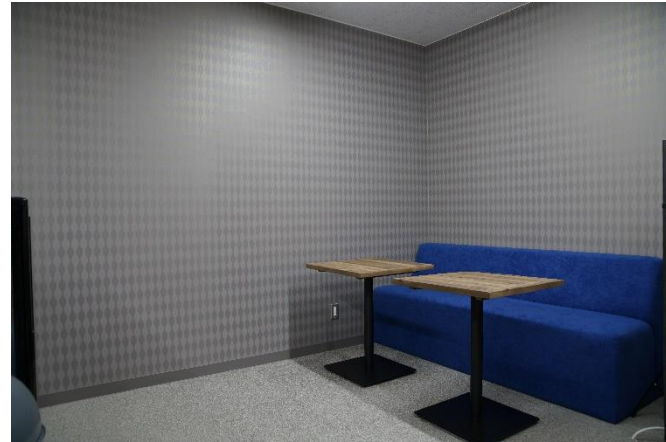
## 洲本ランチ 施設概要

所在：洲本市本町四丁目5番3号 洲本商工会議所会館1階ビジネス交流センター

広さ：約32㎡

席数：9（+補助席）

設備：wifi、カラーレーザー複合機、貸出モニター、空気清浄機等



- ・ ユヌス博士が所長を務めるユヌスセンターとの合意のもと設置（2019年6月19日）

- ・ ソーシャルビジネスの地域実装化につながる研究活動や社会活動を支援、大学地域連携型の事業の発展に取り組むセンター



Bangladesh の経済学者・実業家であり、貧困層向けに小額融資（マイクロファイナンス）を行うグラミン銀行を1983年に設立。貧困削減のための新しいモデルを提示し、 Bangladesh の貧困削減に貢献したことが評価され、2006年にはノーベル平和賞を受賞。



「ユヌス ソーシャルビジネス リサーチセンター」開所式  
ムハマド・ユヌス氏と龍谷大学 入澤崇学長

# 設立に至った背景

- ・ 建学の精神は「浄土真宗の精神」
- ・ 「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成すべく、教育・研究・社会貢献の諸活動に取り組んできた
- ・ 近年、龍谷大学において、主に政策学部を中心に、ビジネスを通じて社会課題の解決を目指す、社会的起業が増加してきた
- ・ 創立380周年を迎えるにあたり、本学の持つ使命として、新たな知と価値の創造を図ることで、あらゆる「壁」や「違い」を乗り越え、世界の平和に寄与するプラットフォームとなることを掲げた

## 龍谷大隠れた起業の雄

京大・阪大に次ぐ関西3位



シカやイノシシを生き取りにして血成産するなどで産肉が急減する(京府宮新聞)

開学130周年を記念して「社会課題解決型」企業を表彰する。京大・阪大に次ぐ関西3位。京大・阪大に次ぐ関西3位。京大・阪大に次ぐ関西3位。

## 社会課題解決型 増える 地域密着と「利他」後押し

龍谷大学が社会課題解決型企業を増やしている。京大・阪大に次ぐ関西3位。京大・阪大に次ぐ関西3位。

社会課題解決型企業が増えている。京大・阪大に次ぐ関西3位。京大・阪大に次ぐ関西3位。

社会課題解決型企業が増えている。京大・阪大に次ぐ関西3位。京大・阪大に次ぐ関西3位。

(主な龍谷大発スタートアップ)

分類	社名(所在地)	主な事業内容
社会課題解決	本郷をいいたち (京都府)	出張朝御参。加齢障害者の雇用確保
	アオイノシシ (京都府)	タイ倉コトーロの観光。少数民族の就業支援
技術系	リユーテック (大津市)	地元野菜を使った離乳食の製造販売。有機農家を支援
	ミュージアム (大津市)	ワイヤレス給電システムの開発
社会課題解決	はたけのみかた (滋賀県瀬川町)	自産自銷の有機野菜を使った離乳食の製造販売
	トラクスポート (大津市)	家庭用エネルギー管理システムの開発・販売

関西の大学発スタートアップ企業数(2018年度)

順位	大学名	企業数
1	京都大学	164
2	大阪大学	106
3	龍谷大学	43
4	立命館大学	29
5	神戸大学	26
6	同志社大学	25
7	大阪府立大学	19
8	奈良先端科学技術大学院大学	16
9	大阪工業大学	14
10	近畿大学	13
11	京産工芸短期大学	13

(出典) 経済産業省「平成30年度大学発ベンチャー」調査報告書

## 自前VC支え 京大 阪大 突出

京大・阪大が自前VCでスタートアップを支援している。京大・阪大に次ぐ関西3位。京大・阪大に次ぐ関西3位。



株式会社はたけのみかた  
代表 武村幸奈さん

無農薬で栽培された滋賀県の旬の野菜を使った、無添加の安全・安心な離乳食「manma (マンマ)」を販売。



株式会社革靴をはいた猫  
代表取締役 魚見 航大さん

障がいを持つメンバーと靴磨き専門店、出張靴磨きサービスを展開。



株式会社アカイノロシ  
代表取締役 矢野 龍平さん  
取締役 三輪 浩翔さん

タイ北部チェンライの少数民族「アカ族」が作った上質で希少なコーヒー豆を輸入・卸売



株式会社RE-SOCIAL  
代表取締役 笠井大輝さん  
江口和さん  
山本海都さん

獣害をもたらすシカやイノシシを狩猟、解体、加工しジビエとして流通。



## 龍谷ソーラーパーク



株式会社PLUS SOCIAL  
PS洲本株式会社

地域貢献型再生可能エネルギー事業の展開



 PLUS SOCIAL



グローバルな発信

支援・リソースの提供



研究成果の社会的発信・認知

社会的インパクト・ローカルインパクト主体の育成

社会的インパクト・ローカルインパクトの社会実装

ソーシャルビジネスの理論化、書籍刊行、シンポジウム開催

インパクト評価者の育成プログラムの実装化

インパクト評価の事業化



Yunus Social Business Research Center

仏教とSB理論化研究ユニット

人材育成研究ユニット

ローカルインパクト研究ユニット

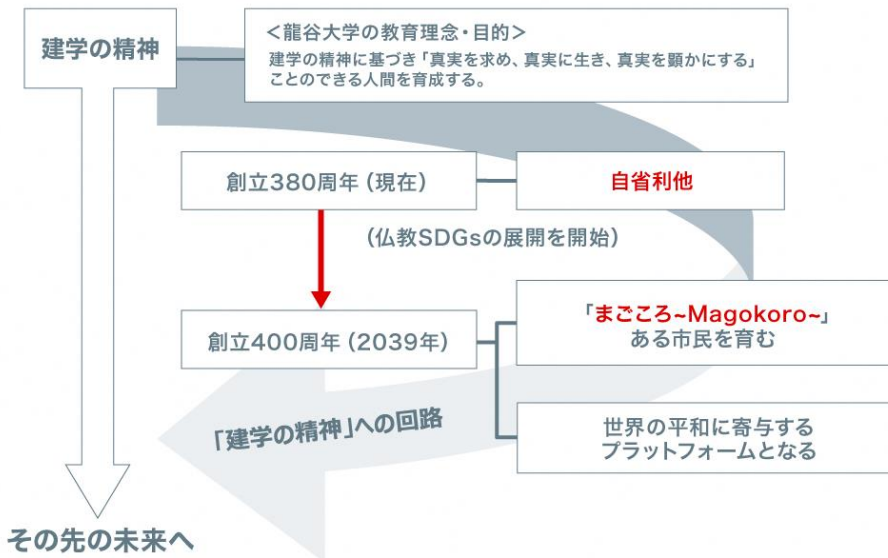


事業化と研究プロセスの往還



自治体、信用金庫、企業、財団等でのインパクト評価に関する共同・受託事業

## 構想400がめざすもの



龍谷大学と洲本市は、2013年度より「域学連携」事業に共同で取り組み、龍谷大学の学生や教職員が洲本市を訪れ地域から学ぶとともに、地域における活気や賑わい、新たなビジネスモデルを創出してきた。

## 【域学連携】

「大学生と大学教員が地域の現場に入り、地域の住民やNPO等とともに、地域の課題解決又は地域づくりに 継続的に取り組み、地域の活性化及び地域の人材育成に資する活動」（総務省HPより）

龍谷大学は、洲本市と「域学連携協定」（2014.9.1「洲本市・龍谷大学 域学連携協定書」）を締結するなど、当初から洲本市と深く関わり、売電利益を地域貢献に用いる太陽光発電所の設置、農業用ため池保全活動を観光化するツアーの開催、放置竹林を有効活用するメンマ商品開発などに取り組むなど、課題解決型のビジネスモデルの構築を進めてきた。

協定を軸として洲本市と本学との連携事業をより一層進めるため、センターの目的、SDGsの具現化やソーシャルビジネスを支えるエコシステムとして、洲本市、洲本商工会議所と共同し、龍谷大学の分室（ランチ）として洲本商工会議所会館1階の「ビジネス交流センター」に開設する運びとなった。

# 島の編集室 SENKA(せんか)



地域の住民や企業、域学連携に参画する都市部の大学関係者などが、気軽に集い、学び、交流するためのコワーキングスペース「島の編集室 SENKA※」を2021年4月5日にオープン。地域の資源や魅力をつなぎ合わせ、再構築するなど、島の新しい価値を編集することで、地域課題の解決につながる活動やビジネスを生み出す。

地元の高校生や、連携大学の学生等は利用料を無料（席数など条件有り）とすることで、次代の地域を担う若者のスキルアップや、将来淡路島や洲本市に帰ってくるといふ動機付けにつなげることとする。

運営するのは、淡路島出身のIT事業者が代表を務める「オニオンデザイン」。島内在住スタッフ3名が交代制で常駐し、利用者対応を行うとともに、ITスキルを活かした学びの機会も積極的に創出する。

※SENKA＝島でよく使われる言葉「せんか」（≒just do it）からのネーミング。どんなことでも前向きに、仲間とともにチャレンジしてみる、そんなきっかけが得られる空間となるようにという思いを込めている。

「島の編集室 SENKA」営業内容

営業日：平日13：00～20：00（土日祝は貸切利用のみ）

貸出席数：8（＋補助席）

利用料：2時間500円/人、終日1,500円/人、ほか月定額プランなど用意

無料サービス：wifi利用、モニター貸出、インスタントドリンク

有料サービス：プリンター利用、豆から淹れるコーヒー

ディレクション：NPO法人淡路島アートセンター（洲本市本町8-4-11）

ロゴデザイン：植田奏（洲本市本町5-3-9）

机等製作：家具zombi（洲本市桑間387-1）



**RYUKOKU  
UNIVERSITY**